

防災士フォローアップ研修 参加報告

平成31年2月2日(土)に、平成30年度第2回広島市防災士フォローアップ研修を受講しました。

今回の研修は、HUG(ハグ)(避難所運営ゲーム)「風水害編」のワークショップでした。講師は一般財団法人消防防災科学センターの防災図上訓練指導員・毛利泰明氏です。

まずは、ゲームの概要や実際にあった運営のコツを講義していただき、「このゲームの目的は、できないことを認識し、混乱を想定する方法と事前対策を考える方法を学ぶこと」と目標を示していただきました。

HUGは、様々な状況の避難者や発生する出来事や情報が書かれているカードを使って行います。読み手が次々とカードを読み上げ、残るメンバーで、避難所の図面上にカードを配置していきます。避難者の受け入れに加え、被災状況の確認や行政との連絡、物資やボランティアの受け入れなども行わなくてはなりません。掲示板も設置し、避難者への指示や呼びかけ、情報開示も重要です。

安佐南区内の町内会・自治会を中心に集まった参加者が、6人1組のチーム

を組んでスタートしたのですが、直後から様々な対応に追われ、現場さながらのパニック状態に！

途中、講師からも、掲示物の問題点の指摘や運営側の対応へのクレームを模した指導もあり、気づけば大混乱のまま、2時間があっという間に過ぎました。

ゲームを終えて、避難所運営にはいかに事前準備が大切かということと、運営の際には事前準備に頼らない対応力が必要である、ということをしみじみと感じました。「どうにかなるだろう」「やつてみなければわからない」ではなく、「こんなことがあるかもしれない」と想定した準備をしておかなければ、イザ！という時に対応が遅れてしまうのです。それは、「命を守る」ことにもつながります。

そして、大事なことは、運営側と避難者を含めてみんなで協働できる避難所にあること。大変な時だからこそ、地域の人々なやご近所の方と助け合い、支え合うことで、トラブルの少ない、より安心な避難所が実現すると思います。「万が一」はいつやってくるかわかりません。機会があればぜひ皆さんにも体験していただき、地域全体の「備え」につなげることができればと思います。

(防災士・アーバン 若本智子)

防災士資格取得者が 15名に増えました！

A. C I T Yでは平成30年度、新たに8名の方が防災士の資格を取得しました。これで市内の防災士は15名となりました。A. C I T Y自治会オリジナル・防災リーダー養成講座を受講したみなさんです。この防災士資格取得奨励活動は、平成28年度から自治会が積極的に取り組みを行い、今では大塚・伴南学区自主防災会において、防災士連絡会が発足するまでの活動に成長しました。今年度も養成講座を行いますので興味のある方は、各住区長までお問い合わせください。



A. CITYの行事予定

3月 9日(土) 有価資源ごみ回収日

3月16日(土) 防災リーダー養成講座ワークショップ

3月17日(日) 大塚公民館まつり

3月23日(土) 有価資源ごみ回収日

3月24日(日) 自治会総会

4月 7日(日) 自治会全体役員会
普通救命講習Ⅰ

第24回大塚学区 卓球大会優勝！

今年度最後の体育部の行事である卓球大会にA・CITY自治会から小学生4名も含め総勢25名(3チーム)が参加しました。

午前中は小学生の部の個人戦と各町内会・自治会対抗の団体戦が行われました。1チームあたり6人で構成され、試合はダブルス×3で競います。大会では総勢11チームがエントリーし、6チームがひしめくAゾーンと、5つのチームで構成されたBゾーンに分かれて予選(総あたり戦)を行いました。

AゾーンにBチームとCチーム。BゾーンにAチームがそれぞれ挑みました。AゾーンではBチームが相手チームを見てはメンバー配置を変えるなどの戦略を組み、見事に首位通過で決勝戦へ！Cチームは楽しく参加で6位通過と健闘しました。BゾーンではAチーム善戦するも3位となり予選敗退となりました。

決勝にコマを進めたBチームは、予選でAチームを破った大塚上町内会に最後まで手に汗握る接戦の展開となりましたがセットカウント2対1で見事Bチームの勝利。平成最後の大会を優勝で締めくくりました。

また、小学生の部(高学年)ではイーストの吉川さんが準優勝。パレットの田口さんが3位入賞。午後から行われた一般男子の部では、ステージの須原さんが優勝。イーストの住谷さんが3位入賞と個人戦も好成績を残しました。これで今年度の体育部行事は終わりました。卓球大会も含め、今年度体育部の行事に参加いただいたみなさん!! 大変おつかれさまでした。

【卓球大会結果】

〈団体の部〉

優勝 A・CITY Bチーム

〈小学生 高学年の部〉

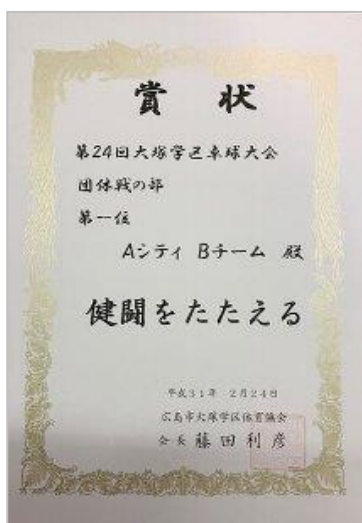
準優勝 吉川さん(イースト)

3位 田口さん(パレット)

〈一般男子の部〉

優勝 須原さん(ステージ)

3位 住谷さん(イースト)



民生・児童委員だより

速報！犯罪情報！

あの手この手で、次々と新たな犯罪が増えています。少しでもおかしいと思ったらすぐ身内や民生委員に連絡してください。最近の犯罪事例をご紹介します。

【ケース①】

「公民館に展示してある書を見ましたが素晴らしい。専門書に掲載

しませんか。」と電話で勧誘され、有頂天になり快諾した。掲載料は2万円と聞いていたが、24万円の請求書が送付された。話が違っていると連絡したが「既に印刷した。キャンセルはできない。」と強く言われ恐ろしくなり支払った。

怪しいと思ったらはっきり断り電話を切ってください。

【ケース②】

「選ばれた方だけに紹介しています。天皇の譲位を記念して作成されたアルバムを30万円で買いませんか？」と丁寧な電話がありましたが高かったので断りました。すると業者が一方的に送付し、それを妻が受け取り開封してしまったため、30万円の支払いを要求されました。

契約(口頭でも)する場合は、家族がお友達に相談して下さい。

また注文しない商品が届いた場合は受け取りを拒否しましょう。そのことで宅配業者に迷惑はかかりません。

それでも困った場合は、

◎広島県生活センター

082(2223)6111

◎消費者ホットライン

局番なしの188

まで連絡しましょう。ひとりで対応しませんが素晴らしいことが肝心です。

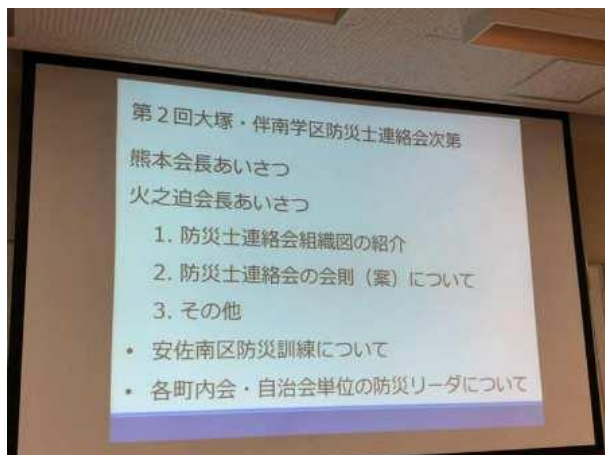
大塚・伴南自主防災会 防災士連絡会発足

大塚・伴南学区では平成29年度より、近年増加傾向にある大規模災害に対する防災活動の一環として、学区内の8町内会で防災士100名を育成しようというプロジェクトを開始しました。

このプロジェクトはA・CITY自治会防災士が中心となり、大塚・伴南社会福祉協議会に提案した企画で、開始後2年目の現在、学区内の防災士は50名を越えました。

本年度も既に取得希望者を募っていますが、年々各町内会で資格取得者が増加傾向にあります。そこでこの度、各町内会の防災士同士で連携し、情報交換・防災活動の企画提案・運営や各町内会へのフィードバックを目的とした、防災士連絡会が発足しました。第2回の連絡会においては40名以上の防災士が出席。会則も正式に承認されました。

基本は各町内会の活動になります。が、8町内の防災士が協力し合い、学区単位の防災訓練・防災研修会をこの連絡会で運営することになります。地域の防災力向上の一助として機能することを期待しています。



↑ 連絡会会則も A.CITY 防災士が積極的に関与



↑ 各町内会防災士のみなさん



タワーズイースト
埴田 幸男
(敬称略)

A・CITYの防災士紹介

3月17日(日)に第6回大塚公民館まつりが開催されます。公民館で活動しているグループの作品展示や体験コーナー・ステージ演奏が行われる予定です。
A・CITYからはANCがラーメン・ベーコン串を販売します。また、タヒチアンダンスチームのステージ出演も。詳細については「公民館だより」をごらん下さい。ご来場をお待ちしています。

大塚公民館まつり



平成30年度自治会総会のお知らせ
日時：平成31年3月24日(日)
午前11時から
場所：管理センター大ホール
自治会会員の皆様には、総会資料及び出欠確認書をお届けします。出欠表にご記入の上、3月22日(金)までに管理センターへご提出ください。

防災士雑談記

VOL.13

防災士が不定期につぶやく防災のあれこれ

12回に渡ってつぶやきを読んでいただきありがとうございます。

つづやきのテーマを先人からのメッセージとして、約3万年前の鹿児島県の始良カルデラの噴火による火山灰が広島でも20cm以上確認されていること。

約4千年前の島根県三瓶山最後の噴火により県北域にクロボクといわれる真っ黒な土が堆積していること。

豪雨による土石流などの被災地に、被災状況を記した石碑があり、後世に注意をうながしていること。

沼田(ぬまた)と(ぬた)の読みの違いと地名の由来。広島市周辺の原始・古代の遺跡は丘陵上に立地していること。『今昔マップ』のホームページを利用して、古写真と現在の地形が確認できること。大塚周辺の災害地名の紹介などを記してきました。

行政の発する警報に注意を払うのは当然ですが、「先人からのメッセージ」にも注意をはらうことも、自分の身を守る方法のひとつです。我が街の防災士は15名となり、雑談記は新たな防災士の方にバトンタッチします。

(防災士・フォレスト 山田繁樹)

ごみ出しマナー再確認！

進学・転勤の時期になりました。ごみは各自治体で分別収集方法が違いため、転入者は戸惑うことも。転居してきた近所さんにもご案内できるよう、地域のごみ出しルールを再確認しましょう。お互いに気持ち良く生活するために心遣いしたいですね。

「ごみ出しは正しい分別で！」

決められた日時に申し込もう！

広島市ホームページより、ポイントを抜粋してご紹介します。詳細につきましては、後日配布する平成31年度のごみカレンダーにてご確認ください。

平成31年度広島市

家庭ごみの正しい出し方

【可燃ごみ】(週2回)

◆ じょうぶな紙袋またはポリ袋(土のう袋を除く)に入れて出してください。(段ボール箱で出さないでください。)

◆ 菓子箱やダイレクトメール等名刺大以上の紙は資源ごみで出して下さい。

◆ 牛乳パックは、できるだけ店頭回収をご利用ください。

◆ 生ごみは、よく水を切って、新聞紙などに包んでください。

◆ 食用油は、布や新聞紙などに染み込ませてください。

◆ 竹串などがつたものは、先をつぶして出してください。

【ペットボトル】(週1回)

◆ 透明・または半透明のポリ袋にいれて出してください。キャップとラベルはリサイクルプラです。別にしましょう。

【リサイクルプラ】(週1回)

◆ 食品の容器は、洗うなどして付着物を取り除いてください。(汚れが取り除けない場合は「可燃ごみ」で出してください。)

◆ ボトル類・チューブ類の容器は必ず中身を使い切り、洗うなどして付着を取り除いてください。

【不燃ごみ】(月2回)

◆ 丈夫なポリ袋(土のう袋を除く)に入れ出してください。火災予防のため、ライターは中身を空にし、他の不燃ごみと袋を分け、袋に「ライター」と書いて出してください。

【大型ごみ】(月2回)

◆ 有料で予約制です。

【資源ごみ】(月2回)

◆ 缶、びんはフタやキャップをはずし、内容物を取り除いて洗って出してください。

有価資源ごみ・特定ごみ回収をご利用ください

広島市では、ごみの減量化や持ち去り防止などのため、町内会などの「集団回収」を推奨しています。

A. CITY自治会も、資源ごみを有価資源とする「有価資源ごみ回収」と、大型ごみの一部を無料回収する「特定ごみ回収」を事業者と契約していますので、積極的にこちらもご利用ください。

◎有価資源ごみ

(月2回/第2・第4土曜日)

●収集対象

- ①新聞・チラシ
- ②ダンボール(断面が波状の板紙)
- ③雑誌・本・空箱・牛乳パックなどの紙類(ハガキ以上の大きさ)
- ④アルミ缶・スチール缶・一斗缶・鍋などの金属類



※左記のものは回収しておりません。ご注意ください。

- ・ビン
- ・ペットボトル
- ・布類

◎特定ごみ

平成31年度収集日:

5月31日(木)・10月31日(木)

●収集対象

- ①発熱器具
ファンヒーター・ストーブ
- ②軽車両・農機具
自転車・バイク・耕運機等
- ③電動工具
電動ドリル・電動サンダー・電動ノコギリ
- ④台所関係
瞬間給湯器・ガステーブル・ガスコンロ
- ⑤パソコン関係
パソコン本体・液晶モニター・ノートパソコン
- ⑥その他素材が金属主体なものの
ゴルフクラブ・ミシン・水道蛇口など

